



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カーチスホールディングス
 コード番号 7602 URL <http://www.carchs-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 富田 圭潤
 (氏名) 高田 知行

TEL 03-5825-5075

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,712	5.5	900	54.1	904	34.1	2,619	494.2
23年3月期第3四半期	24,367	15.6	584	179.7	674	200.7	440	122.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,612百万円 (510.7%) 23年3月期第3四半期 427百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	11.10	—
23年3月期第3四半期	1.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	6,643	4,648	69.9	19.70
23年3月期	6,318	2,042	32.1	8.59

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,646百万円 23年3月期 2,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	2.3	1,050	0.8	1,060	△7.0	2,780	338.5	11.78

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	235,987,091 株	23年3月期	235,987,091 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	61,554 株	23年3月期	61,554 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	235,925,537 株	23年3月期3Q	235,925,604 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、「添付資料」3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日）におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響から停滞していた企業活動が生産や輸出を中心に持ち直しつつあるものの、歴史的な円高、欧州の政府債務危機などによる先行き不透明感から、依然厳しい状況が続いております。

当社グループの属する自動車業界において、平成23年度の国内新車販売の台数（軽自動車含む）は、前年比15.1%減の421万220台と低い水準で推移いたしました。平成24年度については、エコカー補助金制度再開を受け、4年ぶりに500万台を回復する見込である（日本自動車工業会公表）など回復基調にございます。一方で、中古車販売台数は良質車不足が続き、平成23年度の販売台数が11年連続で前年比を下回るなど減少傾向にあります。

このような環境の中で、当社グループの売上高は25,712百万円と前年同期に比べ5.5%増となりました。主な要因は、前期及び当期新規出店店舗が周辺店舗と有機的に連携した事によって、新規出店店舗の業績が堅調に推移したことによるもので、結果として買取台数および販売台数の伸張に繋がりました。しかしながら、売上総利益については上半期後半からのオートオークション市場の急激な相場下落の影響もあり、売上総利益率が第2四半期累計期間の20.3%から、当第3四半期連結累計期間は19.3%に低下するなど、例年以上に厳しい状況で推移いたしました。

その結果、売上総利益は4,960百万円（前年同期比4.0%増）となりました。一方で、主に賃料や水道光熱費などの削減により販売費及び一般管理費は4,059百万円（前年同期比3.0%減）となりました。以上の結果、営業利益は900百万円（前年同期比316百万円増）、経常利益は904百万円（前年同期比229百万円増）となりました。また、特別利益として訴訟損失引当金戻入額を1,799百万円計上したことや、平成23年12月の税制改正に伴い繰延税金資産を82百万円取崩したことなどにより四半期純利益は2,619百万円（前年同期比2,178百万円増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は5,631百万円となり、前連結会計年度末に比べ379百万円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加1,505百万円、受取手形及び売掛金の減少775百万円、商品の減少322百万円などによるものであります。固定資産は1,012百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少いたしました。その主な要因は、投資有価証券の減少41百万円、差入敷金保証金の減少13百万円などによるものであります。

この結果、総資産は6,643百万円となり、前連結会計年度末に比べ325百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は1,822百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,306百万円減少いたしました。その主な要因は、訴訟損失引当金の減少1,871百万円、支払手形及び買掛金の減少211百万円、閉鎖店舗引当金の減少183百万円などによるものであります。固定負債は173百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円増加いたしました。その主な要因は、資産除去債務の増加21百万円によるものであります。

この結果、負債合計は1,995百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,280百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は4,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,605百万円増加いたしました。その主な要因は、四半期純利益を2,619百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は69.9%（前連結会計年度末は32.1%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ、2,010百万円増加し、残高は3,218百万円(前年同期は1,588百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益は2,733百万円であり、訴訟損失引当金の減少1,871百万円、仕入債務の減少211百万円、閉鎖店舗引当金の減少183百万円などのマイナス要因があったものの、売上債権の減少775百万円、訴訟の判決による拘束性預金の減少500百万円、たな卸資産の減少323百万円などのプラス要因があったことにより、結果として1,978百万円のプラスとなりました(前年同期295百万円のプラス)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

敷金及び保証金の差入による支出52百万円、有形固定資産の取得による支出33百万円などのマイナス要因があったものの、敷金及び保証金の回収による収入56百万円、投資有価証券の売却による収入44百万円のプラス要因があったことにより、結果として42百万円のプラスとなりました(前年同期391百万円のプラス)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の返済による支出10百万円があったことにより、結果として10百万円のマイナスとなりました(前年同期5百万円のマイナス)。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年8月10日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,717,912	3,223,315
受取手形及び売掛金	1,059,445	284,350
商品	1,988,900	1,666,071
貯蔵品	2,386	1,553
繰延税金資産	329,594	247,174
その他	154,001	209,192
貸倒引当金	△25	△25
流動資産合計	5,252,215	5,631,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	841,775	891,715
減価償却累計額	△499,299	△538,017
建物及び構築物(純額)	342,476	353,698
土地	5,317	0
建設仮勘定	1,050	—
その他	101,059	106,322
減価償却累計額	△75,310	△83,115
その他(純額)	25,749	23,207
有形固定資産合計	374,592	376,906
無形固定資産		
のれん	5,110	2,555
その他	36,101	33,352
無形固定資産合計	41,212	35,908
投資その他の資産		
投資有価証券	67,024	25,419
破産更生債権等	6,818,012	6,821,072
差入敷金保証金	570,931	557,710
その他	9,176	12,946
貸倒引当金	△6,814,862	△6,817,922
投資その他の資産合計	650,282	599,226
固定資産合計	1,066,088	1,012,041
資産合計	6,318,303	6,643,672

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	486,454	274,825
未払金	391,187	361,945
短期借入金	12,897	—
未払法人税等	29,988	34,489
訴訟損失引当金	1,871,615	—
債務保証損失引当金	23,151	—
閉鎖店舗引当金	794,300	610,559
製品保証引当金	31,756	38,454
修繕引当金	9,655	—
その他	477,554	501,790
流動負債合計	4,128,562	1,822,065
固定負債		
預り保証金	4,550	4,550
繰延税金負債	22,459	26,756
資産除去債務	118,640	140,587
その他	1,505	1,505
固定負債合計	147,154	173,398
負債合計	4,275,717	1,995,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,447,805	14,447,805
資本剰余金	7,555,702	7,555,702
利益剰余金	△19,972,231	△17,353,055
自己株式	△3,753	△3,753
株主資本合計	2,027,522	4,646,699
少数株主持分	15,062	1,508
純資産合計	2,042,585	4,648,208
負債純資産合計	6,318,303	6,643,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	24,367,001	25,712,322
売上原価	19,596,100	20,752,215
売上総利益	4,770,901	4,960,106
販売費及び一般管理費	4,186,890	4,059,856
営業利益	584,010	900,250
営業外収益		
受取利息	364	273
受取配当金	265	230
受取手数料	2,157	2,230
還付消費税等	15,845	—
負ののれん償却額	43,293	—
助成金収入	22,982	—
協賛金収入	3,034	2,328
雑収入	16,275	4,064
営業外収益合計	104,218	9,126
営業外費用		
支払利息	479	197
持分法による投資損失	3,149	—
支払保証料	3,103	1,662
修理費	1,596	1,414
雑損失	4,985	1,298
営業外費用合計	13,313	4,573
経常利益	674,916	904,803
特別利益		
固定資産売却益	21,923	24,325
貸倒引当金戻入額	18,923	—
訴訟損失引当金戻入額	—	1,799,613
債務消滅益	—	29,297
償却債権取立益	4,634	—
投資有価証券売却益	370	15,964
債務保証損失引当金戻入額	—	3,701
特別利益合計	45,850	1,872,902

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	3,059
投資有価証券売却損	—	880
投資有価証券評価損	120,150	11,840
訴訟関連損失	23,920	17,598
減損損失	—	10,846
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	75,854	—
債務保証損失引当金繰入額	11,575	—
特別損失合計	231,500	44,224
税金等調整前四半期純利益	489,266	2,733,482
法人税、住民税及び事業税	33,645	34,489
法人税等調整額	15,123	86,717
法人税等合計	48,769	121,207
少数株主損益調整前四半期純利益	440,497	2,612,274
少数株主損失(△)	△287	△6,901
四半期純利益	440,785	2,619,176

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	440,497	2,612,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,760	—
その他の包括利益合計	△12,760	—
四半期包括利益	427,737	2,612,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	428,025	2,619,176
少数株主に係る四半期包括利益	△287	△6,901

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	489,266	2,733,482
減価償却費	118,146	65,197
減損損失	—	10,846
のれん償却額	851	2,911
負ののれん償却額	△43,293	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△137,353	3,059
修繕引当金の増減額(△は減少)	—	△9,655
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	11,575	△23,151
閉鎖店舗引当金の増減額(△は減少)	△252,040	△183,740
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	—	△1,871,615
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1,018	6,698
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	75,854	—
受取利息及び受取配当金	△629	△503
支払利息	438	197
投資有価証券売却損益(△は益)	△370	△15,084
投資有価証券評価損益(△は益)	120,150	11,840
持分法による投資損益(△は益)	3,149	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△21,923	△24,325
売上債権の増減額(△は増加)	389,209	775,094
たな卸資産の増減額(△は増加)	59,242	323,662
仕入債務の増減額(△は減少)	△222,208	△211,629
破産更生債権等の増減額(△は増加)	118,429	△3,059
未払金の増減額(△は減少)	△60,961	△60,589
未払消費税等の増減額(△は減少)	29,446	33,049
その他	175,251	△54,592
小計	853,252	1,508,091
利息及び配当金の受取額	533	503
利息の支払額	△438	△197
訴訟の判決による拘束性預金の増減額(△は増加)	△500,000	500,000
法人税等の支払額	△57,777	△29,988
営業活動によるキャッシュ・フロー	295,571	1,978,408

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,400	—
定期預金の払戻による収入	10,000	5,400
投資有価証券の売却による収入	3,826	44,386
有形固定資産の取得による支出	△25,362	△33,728
有形固定資産の売却による収入	400,805	38,829
無形固定資産の取得による支出	△4,425	—
長期前払費用の取得による支出	△1,295	△8,660
出資金の払込による支出	△10	△800
敷金及び保証金の差入による支出	△3,231	△52,920
敷金及び保証金の回収による収入	21,998	56,897
預り保証金の返還による支出	△1,000	—
連結子会社株式の追加取得に伴う支出	—	△7,008
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	249	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	391,156	42,394
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	10,000	—
短期借入金の返済による支出	△15,000	△10,000
自己株式の取得による支出	△3	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,003	△10,000
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	681,723	2,010,803
現金及び現金同等物の期首残高	906,453	1,207,512
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,588,177	3,218,315

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。